

保育目標	個人のスキルアップ・園全体のレベルアップ	
人権の尊重	こどもの人権尊重・性差への固定概念による関わり方への配慮	◎
説明責任	理念・基本方針の利用者周知 利用者が意見を述べやすいか	○
情報保護	利用者のプライバシー保護に関する規定整備 守秘義務に関する職員周知	◎
苦情解決	苦情解決の仕組みの確立とその機能の対応	◎
(養育内容) 養護と教育	養護…こども一人ひとりに応じた適切な援助 保護者との連携 教育…自発的な活動 自然や社会との係わり 戸外遊びの充実	◎
虐待予防	虐待の早期発見・記録の実践、関係機関への通報 職員による虐待	◎
要する特別な場合	特別な支援を要するお子様についての配慮 関係機関との連携 保護者支援	○
への保護者支援	家庭の状況や保護者との情報交換 個人面談、懇談会の実施	○
健康支援	健康に関する適切な対応 内科健診、歯科検診、身体測定の実施	◎
衛生環境管理	安全で保健的な環境づくり	○
指保 導育 録計 録課 画程	指導計画の作成、適正さ、見直し 長時間保育への配慮 進級時の申し送り	○
事安 故全 防対 止策	安全衛生のための環境整備 感染症対策 アレルギー対応 危機管理体制(マニュアル)整備	◎

研修計画	研修計画の実践と業務への反映	○
職員 の 資 質 向 上	各職員の役割、目標 職員間の連携 人材育成の計画、実践 非常勤職員の資質向上	○
子 育 て 支 援 地 域 と の 連 携	小学校との連携 保育所資源開放 実習生受け入れ 子育て支援の重要性への理解	△
食育	食育の基本の理解と計画策定 食による育ちへの工夫 家庭との連携	△
施設 責任 者の	保育所の役割・社会的責任を果たす 自己評価による改善の取り組み 専門性の向上 法令の遵守	○
評価 ・ 反省	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間のコミュニケーションは積極的に行われており、立場、年齢に関係なく意見が言える ・行事は結果としては成功をおさめているが、事前準備でのミスが気になった。係りの中で分担に差がある。 ・クラス同士の交流をもう少し深めたい。 ・特別に支援の必要なお子様への対応強化を望む ・食育面の充実を図りたい ・会社の取り組み「NO.1宣言」の成果の表れを感じた。 ・安心して過ごせる環境ができていると感じている。 ・これまであまり行ってこなかった地域交流を実践できた。 ・経年による劣化や備品の不具合について修理が必要 	
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・園全体としては、各項目ほぼ○の評価(おおむねできている)以上であった。特にかつて課題としてきた戸外活動の充実については成果が上がってきている思う。「情報保護」「虐待に対して」「安全対策について」という点についても特に評価が高く、保育所として守るべき責任を果たしていると思います。 ・△(やや不十分)となった「地域との連携・子育て支援」については、前年度までよりは具体的に取り組み始めて少しずつ活発になってはいるが、今後さらにボランティア受け入れや保育所の資源の有効活用について考えていきたいと思います。また、保育参加(パパ・ママ先生)や未就園児のいるご家庭との積極的な関わりを子育て支援として実践したいと思います。 ・同じく△となった「食育」については、これまでのようにクッキングや季節の食としての行事を行うだけでなく、お子様一人ひとりに応じた食による育ちのための計画作成と実践に努め、成果につながるようにして参ります。 ・「研修計画」「職員の資質向上」についてさらなる向上に努めます。 	